

# 会 議 録

## (1)会議概要

|             |  |   |     |
|-------------|--|---|-----|
| 会 議 名       | 令和2年度<br>第7回泉大津市参画と協働のまちづくり推進会議                      |   |     |
| 開 催 日 時     | 令和3年2月12日（金）19時～20時30分                               |   |     |
| 開 催 場 所     | 泉大津市役所4階401会議室                                       |   |     |
| 出<br>席<br>者 | 委 員  | 久委員、大久保委員、高寺委員、湯川委員、忠岡委員、川上委員   |     |
|             | 事 務 局  | 朝尾総合政策部長、池側市民協働推進課長、森田市民協働推進課長補佐、田戸市民協働推進課係員、中島市民協働推進課係員、寺田おづぷらざセンター長 |     |
| 傍聴の可否       | 可  | 傍聴者数  | 1 人 |
| 会 議 次 第     | 1 開会<br>2 令和2年度事業報告及び令和3年度の取り組みについて<br>3 その他<br>4 閉会 |   |     |

(2)議事内容

○以下、事務局による進行

1. 開会

- 朝尾総合政策部長あいさつ
- 委員紹介、事務局紹介
- 会長あいさつ
- 資料確認

○以下、会長による進行

2. 案件

①事務局より「令和2年度事業報告及び令和3年度の取り組みについて」を説明（記録省略）

その後、委員による質疑応答

**委員からの主な意見・指摘事項等**

■ パブリックコメントや市長への提言について

意見や要望に対して、きめ細かな説明や対応を行うことで、市民の不安を解消し、市民が納得できる施策となっていく。引き続き、市民と協働するという対応をお願いしたい。

若い世代からの意見を取り入れるために、LINE 公式アカウント等 SNS でも提言等ができるようなシステムを取り入れてはどうか。

■ 市の LINE 公式アカウントについて

市の LINE 公式アカウントは、市からの情報発信がメインとなっているが、市民が相談や要望を書き込み、担当課が直接回答できるような仕組みにする等、積極的に活用することで市民との距離が近づくのではないか。

|   |
|---|
| <p>■ コロナ禍における市民公益活動や市民活動支援センター（以下おづぶらざ）について</p>   |
| <p>継続した市民公益活動に向けて、市やおづぶらざは引き続きオンラインの活用やICTの推進、実情に応じた助成等、積極的にサポートや支援をしてほしい。</p> <p>各団体はコロナ禍で創意工夫して活動している。そこでの気づきや困った時のアドバイス等を共有するため、プラットフォームを作ることで、おづぶらざを介さなくても直接団体同士がオンラインで繋がり、リアルタイムに情報を共有できるようになると、公益活動は進んでいくのではないかと考える。</p> <p>おづぶらざの運用について、コロナ禍においても市民公益活動を止めないため、柔軟な対応をお願いしたい。</p> |
| <p>■ ガバメントクラウドファンディングについて</p>   |
| <p>特定の活動や事業に対して寄附ができ、税控除が受けられるという仕組みを丁寧に説明すれば、泉大津市民が返礼品をもらえないという点はハードルにはならないのではないかと期待している。募集に際し伝え方を工夫してほしい。</p>   |
| <p>■ まちづくり協議会について</p>   |
| <p>まちづくり協議会を立ち上げることで自治会への関わり方や活動の仕方が変わっていけば、地域活動が元気になると期待している。</p> <p>地域の中に専門的な知識や技術を持った人がいるはずであり、その人達が地域の課題を解決するため活躍できるような働きかけができれば地域活動が発展していくのではないかと期待している。そのために市やおづぶらざは働きかけや支援をしてほしい。</p>  |

②「その他」

委員、事務局ともに議題無し

○以下、事務局による進行

3. 閉会（記録省略）